

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 3 区分

【発行日】 平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】 特開 2001-240721(P2001-240721A)

【公開日】 平成 13 年 9 月 4 日 (2001.9.4)

【出願番号】 特願 2000-55711(P2000-55711)

【国際特許分類】

C 0 8 L 53/02 (2006.01)

C 0 8 K 5/01 (2006.01)

C 0 8 L 23/10 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 53/02

C 0 8 K 5/01

C 0 8 L 23/10

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

ブロック共重合体の数平均分子量は、25 万～40 万であることが必要である。ブロック共重合体の数平均分子量が 25 万未満の場合には、熱可塑性重合体組成物からなる成形体の耐熱性が十分ではない。また、ブロック共重合体の数平均分子量が 40 万を超えると、熱可塑性重合体組成物の成形性が損なわれる。なお、本明細書でいう数平均分子量は、ゲルパーミエーションクロマトグラフィー (GPC) 測定によって求めたポリスチレン換算の数平均分子量である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

また、本発明の熱可塑性重合体組成物は、JIS K-6262 に準拠し、120℃、22 時間、25% 変形の条件下で測定した圧縮永久歪みが 65% 以下であるか、または 70℃における破断強度 (TB₇₀) と 25℃における破断強度 (TB₂₅) との比が $TB_{70} / TB_{25} \geq 0.5$ であることが必要である。圧縮永久歪が 65% より大きいか、 TB_{70} / TB_{25} が 0.5 未満である場合には、熱可塑性樹脂組成物から得られる成形体の耐熱性が十分ではない。このような性質は、特に、(a) 成分として、分子量が 25 万未満の重合体を使用した場合には、達成することができない。